

IFTA (国際テクニカルアナリスト連盟) 会長から会員への総会レポート

2012 年 10 月

親愛なる会員の皆さまへ

IFTA 理事会を代表して、まずは全ての会員とそのマネジメント・チームに、この 1 年におけるご努力と成果に対する祝辞を申し上げます。テクニカル分析は近年大きく評価を高めており、会員の皆様はこの知名度向上と啓蒙活動に大きく貢献されました。

次に、IFTA の活動に多大な貢献をされてきた全ての IFTA 理事に謝意を表明したいと思います。この 12 ヶ月間で理事の方々は 7 回の理事会に出席され、さらには電話会議やメール連絡に度々参加していただきました。理事の方々が IFTA のために費やした時間と努力は多大なものであったと理解しております。彼らの継続的な貢献と協力がなければ、IFTA はその使命と目的を前進させることはできませんでした。

2011 年 9 月に IFTA 理事会はいくつかの目標を決めました。それらは、IFTA 試験の効率と受験者数の増加、協会の内部規程とマニュアルの整備、ウェブサイトの内容の充実、そして財務内容のさらなる改善です。我々はこの目標について、全てでないにしても、多くのものを達成することができたことをご報告できることを嬉しく思います。

IFTA の試験プログラムである CTFe (国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA) 認定テクニカルアナリスト) は世界の主要な金融センターを含む多くの国で採用されております。試験は現在 6 カ国語で行われ、オンラインで行われる択一式試験と、ペーパーによる論文とで構成されております。CTFe の世界的カバレッジに加え、IFTA は英国、日本、エジプト、そしてオーストラリア各国の試験も認定しており、CTFe はテクニカル分析資格の世界標準になりつつあります。

昨年の CTFe 試験シラバス見直しに沿って、理事会はその更新されたプログラムを実施するための戦略とタイムテーブルを作成しました。理事会としてはこの更新をスムーズに行うことに加え、加盟各国の資格プログラム、特に IFTA 認定の資格プログラムを推進する各位との密接な連携の重要性を十分認識しております。

IFTA 試験についてはこの 12 ヶ月で、CTFe 第 1 次試験については 134 名、CTFe 第 2 次試験については 88 名が受験されました。更にこの 12 ヶ月で 3 名の方に MFTA (国際テクニカルアナリスト連盟 国際検定テクニカルアナリスト) を授与いたしました。その結果、現

在世界で CFTe が 1474 名、MFTA が 106 名となりました。CFTe 試験は加盟協会により現在世界中で提供されており、昨年は 47 カ国 6 カ国語で実施されました。CFTe はそのグローバル・スタンダードとしての地位を急速に高めており、さらには、IFTA は英国、日本、エジプト、そしてオーストラリア各国の認定試験を CFTe 同等として認定しております。IFTA は更にいくつかの国の監督当局と投資運用のプロに対する法定の研修制度に、テクニカル分析を組み込むことについての作業を共同で行っております。直近では、IFTA はアラブ首長国連邦の証券・商品市場当局と、同国の運用業務プロフェッショナルのテクニカル分析技能を CFTe レベルに引き上げることを目的とするテクニカル分析学院をドバイに創設することを支援することに合意いたしました。

連盟の内部規程及び統制については、その推進について大きな成果が得られたことを報告させていただきます。財務面について、マイク・スティールと事務局チームが包括的な規定と統制を作成いたしました。更にそれ以外の多くの重要な部署についても手続きマニュアルを作成し、継続して作業していきます。理事会は更に、CFTe 試験の認定及び普及について加盟協会との合意内容の文書化に向けて努力しております。これらの努力により、我々はこの組織の長期的発展を支える知識基盤と体制を提供できることを望んでおります。

IFTA のウェブサイトの改良は完了し、会員は現在 IFTA の 3 つの新しいデータベース（有資格者、プレゼンテーション資料、講師）にアクセスすることができます。有資格者データベースは、IFTA の有資格者のリストを載せております。これにより雇用者は運用従事者の資格を検証することができます。プレゼンテーション・データベースは、IFTA 会員協会から提供されたテクニカル分析に関する研究や講演資料を載せております。このデータベースがテクニカル分析の教育におけるグローバルな資料の所蔵庫となることを望みます。しかしこれが成功するかは、提供されるプレゼンテーションの内容如何です。ですからメンバー協会各位は、それぞれの国で高い評価を得たプレゼンテーション資料を、是非提供していただき、このデータベースがテクニカル分析教育資料のデータベースとして、世界中のアナリストに活用されるようにして頂きたいと思っております。講師データベースは、世界中の有能なテクニカル分析講師のデータベースです。このデータベースに掲載される人は、それぞれの協会の推薦が必要となります。これにより、会員は大会/セミナー講演者やテクニカル分析講師を探すのが楽になります。同時に、有能なアナリストにとっては、世界中で仕事をする機会が増えることでしょう。例えば、近々 IFTA はドバイで首長国の研修プログラムを作成するため、当局との契約に沿って講師を派遣することになる予定です。

但し、単にこのようなデータベースを作っただけでは十分な効果は得られません。最も重要なことはその内容が正確で、網羅的で、最新であることが不可欠です。IFTA はそれらのデータベースの内容がより効果的で役に立つものになるよう、会員協会各位が IFTA を支援

していただけるようお願い申し上げます。

財務面については。その統制、報告、更には具体的な数字について、大きく改善されたことをご報告できることを嬉しく思います。このレポートのあとで財務担当理事のマイク・スティールからの詳細な報告があります。IFTA は 2012 年に、昨年を上回る剰余金を計上する見通しで、財務は今後数年間にわたり、更なる改善が見込まれます。

更に IFTA 理事会は他の分野でも活発な活動を行っており、この場でそれらの内容について少し触れさせていただきます。

IFTA は 22 の正加盟協会と 10 の準加盟協会の会員で構成され、これらの加盟協会に所属する会員は 6900 人ですが、今後毎年新しい市場が開設され、それらの市場でテクニカル分析が更に主流となっていく見通しであることを勘案すると、会員数は更なる増加が見込まれます。特にアジアの多くの市場は発展段階に入ったばかりであり、しかもあらゆる市場予測手法を柔軟に取り入れつつあります。テクニカル分析はこのような新しい投資家にとって、市場のブレや転換点をナビゲートする上で大きな助けになると思われ、IFTA としてもこれらの市場の成長を技術の共有、教育、試験、更には資格認定という観点で支援して行けるでしょう。

2012 年の会員数は横ばいでしたが、IFTA は中国、ベトナム、イスラエル及びチリの関係者と活発に協議をしており彼らが準会員として IFTA に加盟するのを期待しています。

準会員についてお話しすると、メンバーシップ担当理事の Dan Valcu 氏が準会員団体の正会員昇格のための準備について精力的に協力をしております。いくつかの事例では、準会員は関係当局及びその国の市場慣行からの強い逆風に見舞われているため、IFTA が直接当局と団体設立について折衝をする必要もあるでしょう。他のケースでは、準会員に正会員の要件を満たすのに十分な経験やガバナンスのフレームワークに欠けている場合もあります。このような場合、担当理事はこれら準会員が IFTA 正会員資格を取得できるような改革をいかにすべきか説明し、指導することに多大の労力を費やすことになります。

正会員については、ダン・バルク氏は小規模の加盟協会に対しいかにしてインフラを整備し会員数を増やすか精力的にサポートを行います。IFTA は強力で活発な会員によって構成されることは不可欠であり、それが不可能な場合は、IFTA が加盟協会を支援することになります。多くの場合、IFTA は支援策を見つけ指導することができました。しかし一部のケースではこのような解決が不可能であり、担当理事は総会にその団体の加盟資格の停止を上程する事になるでしょう。

2011年のサラエボ大会は、参加者のフィードバックから判断するに、大成功であったと言えます。この総会は地元メディアにもよく取り上げられ、我々としても地元加盟団体であるボスニア・ヘルツェゴビナ・テクニカルアナリスト協会（SNS）の活動及びテクニカル分析全般について、広くハイライトできました。本年の大会はシンガポールで行われることになっており、私は大成功となることを疑いません。ロバート・グリッグ氏と大会運営チームは、主催者であるシンガポール・テクニカルアナリスト協会（TASS）と協力して、素晴らしい講演とイベントを組織するため、たゆみない努力をしてきました。今回の大会参加者が、シンガポール訪問をエンジョイされ、さらには2013年にサンフランシスコで再会できることを希望しています。

ロルフ・ウェツァー氏の編集により IFTA ジャーナルが出版されました。今年のジャーナルは4部構成です。第一部では各国の IFTA 会員からの論文を載せ、第二部には今年の MFTA（国際テクニカルアナリスト連盟検定テクニカルアナリスト）論文を載せました。今年初めて外部から NAAIM と Wagner Award 2012 の受賞者の報告を載せています。最終部は教育関連に費やされており、ダン・バルク氏の論文とブック・レビューです。今年のジャーナルに掲載されているテクニカル手法は、ボラティリティー・ブレイクアウトからアジア市場のセンチメント測定のための高度な統計手法まで網羅されており、それらの作者、及びそれらを素晴らしい論文集にまとめあげてくれた編集チームに、大いに感謝したいと思います。

何人かの理事が、本日の総会で退任されることになっており、この場を借りて彼らのこれまでの協力と貢献に感謝の意を述べさせていただきます。クラウド・ウォップ氏は理事としての在任期間は短かったのですが、今年前半、彼自身の仕事の関係で、理事を降りざるを得なくなりました。しかし彼は IFTA の強力な支援者であり、特にシンガポール大会開催に向けて大会運営チームに多大な支援を行ってくれました。ジャネット・ヤング氏も仕事の都合で理事を降りざるを得なくなりました。それでも彼女が理事として発揮してくれた試験制度に関する見識でさらに貢献してくれたおかげで、IFTA はより強力な試験制度を持つことができました。ティム・ブラッドリー氏（副理事長（米州担当））も、新副定款に定められた在任期間の満期を迎えることになるので退任します。ティム氏は IFTA 理事として長く在任し、この間、多くの改革に携わってきました。同様に、試験担当のグレゴール・バウアー氏も新副定款に基づき退任します。前任のジャーナル担当理事であったレジーナ・ミーニ氏も同様であります。これらの方々には IFTA 支援に大いなる努力をされました。組織と会員を代表し、彼らのこれまでのご尽力と賢明な助言に感謝の意を申し述べます。更に財務担当理事のマイク・スティーアール氏も今年退任されます。彼は3年にわたり、財務のシステムと統制について、抜本的な改革と改良を行ってくれました。私はマイク・スティーアール氏が財務担当理事として、IFTA の財務統制の改革に並々ならぬ努力をしていただい

たおかげで、IFTA の財務統制は大変素晴らしいものになったと信じており、彼には特別の謝意を表明したいと思います。

更に、引き続き理事として IFTA に貢献していただく方々、及び新たに理事に就任される方々にもお礼を申し上げます。IFTA の理事はその IFTA 及び会員のための目標の遂行のために大変な努力をされていることは、あまり多くの方には知られていません。ロベルト・バルガス氏は IFTA 資格認定担当理事として、世界中の資格試験プログラムの形を整え、それを文書化することを進めてくれました。彼にも特別の謝意を表明したいと思います。秘書官のサレ・ナセル氏と、副理事長（中東・北アフリカ担当）のモハメッド・アシュラフ・マフォス氏はカイロ在住であり、国情不安の中、大いに貢献してくれました。本間晶氏については大会運営への貢献、及び理事会における広範な識見と貢献に感謝します。同様に、副理事長（アジア担当）の大瀧太市氏にも、多大なる貢献及び IFTA への思慮深いアドバイスに謝意を表します。一方、デイビッド・フルカージュ氏は比較的新しい理事ですが、既に世界各国での IFTA の活動支援で顕著です。直近では、デイビッド氏は北京で、中国政府に対するテクニカル分析と IFTA 紹介のプレゼンテーションを行ったチームにも加わってくれました。彼はまた北アフリカにおけるテクニカル分析の組織化にも活発に取り組んでくれており、これらの活動がこれらの発展途上市場において、IFTA 及びますます数を増しているテクニカル分析の理解と活用に興味を持つ参加者にとって、真なる恩恵を与えるものとなると疑いません。

IFTA 理事会の活動は事務局チーム、特にリンダ・バーネティッチ氏とベス・ペリス氏にも大いに助けられました。彼女らのこれまでのハードワークとプロフェッショナルリズムにも、この場を借りて謝意を申し上げます。献身的な事務局の努力なしには、IFTA の発展は難しく、全ての理事を代表して感謝申し上げます。

IFTA 会長としての 3 年間の任期が満了することになり、この機会にこれまで支援してくれた皆様に、この場を借りて感謝の意を再度表明させていただきます。私はこの間素晴らしい理事会メンバーに恵まれたことをとても幸運に思います。そして IFTA にこのような形で仕事をする機会を与えられたこの経験を、大変エンジョイさせていただきました。

さらなる課題は数多くありますが、IFTA は必ずこれらを解決すると確信しています。IFTA これからの課題に取り組むプロセスは、今後 IFTA を長期的に強力な組織とすることになると確信しています。

第1の課題は、IFTAが財務面で堅実な活動を続けられるよう、これまでの素晴らしい仕事を継続することです。今ある剰余金も今後のIFTAの目標達成と使命遂行のために使われるべきでしょう。IFTAの財務内容はこの3年間で、より健全な財務コントロールと会員の負担増により、根本的な改善を見ることができました。IFTA理事会は今後収入の増加と支出のコントロールに注力し、次年度以降も剰余金を確保することを確実にするでしょう。理事会としては、このような方法で、将来会費を値上げすることなく、会員への追加的サービスを提供するための資金を増やすことが出来ると期待しております。

2番目の課題は、一番目の課題とも密接に関連する目標ですが、CTFe（国際テクニカルアナリスト連盟認定テクニカルアナリスト）資格の認定を、世界のより多くの監督当局から得ることです。ちなみに米国ではCTFe資格保持者が株式リサーチ・アナリスト試験（Series86）を受ける場合、その市場分析にかかる部分の試験免除を得られるよう、FINRAに働きかけております。その他の国でもIFTAは、CTFe試験を公的な研修プログラムに組み込むよう働きかけており、徐々にその輪が世界に広がることを期待しています。

3番目の課題は、既に理事会として推進していることですが、中国等の発展途上の市場で、テクニカル分析の普及とIFTA加盟のテクニカルアナリスト協会の設立のために、当局と共同作業を進めることです。IFTAは、世界の金融市場では今後、これらの発展途上市場のウェイトがますます大きくなり、これらの市場がより多くの市場参加者をもたらすであろうと認識をしています。IFTAはテクニカル分析の活用を推進・支援することを使命とすると副定款に定められていますが、これらの新しい市場において、早い段階でテクニカル分析が受け入れられることを図ることは、その戦略の核となります。業界の発展のためのこれらのイニシアティブは必ず成功し、結果としてIFTAはその規模と多様性の両面で、今後も発展することになるでしょう。

4番目の課題は、CTFe試験のシラバスの更新を続け、このプログラムの費用対効果をより高めることです。現在IFTA試験はテクニカル・アナリシス資格認定の世界標準としての評価を得ており、この評価を維持することもIFTAの使命です。そのため、IFTAは試験項目の定期的見直しを行い、その内容を時宜に即したものにし、業界における最良の慣行と最新の発展を反映するよう努めております。またIFTAは、国際資格試験の実施については、収支面でもプラスとなるような方法で実施することにも努力しております。このため、IFTAは近年CTFe一次試験及びCTFe二次試験の形式と構成を見直しており、いかにしてこの活動での収支をより大きくし、加えて受験者によりフレキシビリティのあるものにしていくか努力しております。

5番目の課題として、ウェブサイトを利用した会員へのサービス提供を、より充実したものにしていきたいと考えております。近年における電子的な通信手段とグローバル・ブロードバンドの発達により、情報やアイデアを共有することが際限無く可能となってきており、IFTA としてもこれら技術革新を、会員サービスのためにいかに活用していくか注力しております。このため IFTA としても会員各位からより多くの最新なテクニカル分析レポートやテクニカル分析の教育用資料が提供されることを望んでおります。そうすることで、テクニカル分析がより多く利用されると同時に、世界中のテクニカル分析の学習者たちにもより多くの教材を与えることができるようになることを期待しています。

最後になりましたが、会長在任中に私を支え、IFTA が活気に満ち革新的なテクニカル分析の国際連盟であり続けるためにご尽力いただいた IFTA 及び各国の会員の皆様に、改めて感謝の意を表したいと思っております。皆様のご努力の結集で IFTA は今後もその規模及び内容で成長し続けることでしょう。私と同僚の理事は、IFTA 及びテクニカル分析におけるこれまでの成長にお役に立つことができ、とても光栄に思っております。連盟が今後もますます成功裏に活動し、IFTA 及び会員の皆様が更に強く発展していくことを祈念します。

敬意を持って

アダム・ソラブ

IFTA 会長(2009-2012 年)

2012年IFTA（国際テクニカルアナリスト連盟）シンガポール大会スポンサー企業

Sponsors for IFTA 2012 Singapore



ボリンジャー・キャピタル・マネジメント
P.O. Box 3358
マンハッタン・ビーチ、カリフォルニア 90266、米国
Tel: +1 310-798-8855
Web: www.bollingerbands.com



Bollinger Capital Management
P.O. Box 3358
Manhattan Beach, CA 90266 USA
Tel: +1 310-798-8855
Web: www.bollingerbands.com



ブーケ・ド・フルーレット
E-mail: bd_fleu@mbr.nifty.com
Web: <http://bd-fleurettes.eco.coocon.jp>
メールマガジン(有料): <http://www.mag2.com/m/0001301453.html>
メールマガジン(無料): <http://archive.mag2.com/0001421750/index.html#>
Facebook ページ: <http://www.facebook.com/bd.fleurettes>
Twitter「まぶぼっと」: <http://twitter.com/#!/mabubot>



Bouquet de Fleurettes
Email: bd_fleu@mbr.nifty.com
Web: <http://bd-fleurettes.eco.coocon.jp>
"Mail Magazine" (pay): <http://www.mag2.com/m/0001301453.html>
"Mail Magazine" (free): <http://archive.mag2.com/0001421750/index.html#>
Facebook: <http://www.facebook.com/bd.fleurettes>
Twitter "Mabubott": <http://twitter.com/#!/mabubot>

TS China Research

TS・チャイナ・リサーチ
〒135-0061 東京都江東区豊洲4-9-13-610
Tel: 03-3531-9282
E-mail: tashiobj@china-research.co.jp
Web: <http://china-research.co.jp/>

TS China Research

TS China Research
4-9-13-610 Toyosu, Koto-ku, Tokyo 135-0061, Japan
Tel: 81 3-3531-9282
E-mail: tashiobj@china-research.co.jp
Web: <http://china-research.co.jp/>

IFTA 2012 Conference website 大会情報

<http://conference.ifta.org/2012/>

IFTA 2012 Conference brochure (English) 大会パンフレット

<http://conference.ifta.org/2012/docs/brochure.pdf>

IFTA 2012 Conference brochure (Japanese) 大会パンフレット(日本語)

<http://www.ntaa.or.jp/wp-content/uploads/2012/07/IFTASingaporeBrochureJapanese.pdf>

IFTA website IFTAウェブサイト

<http://www.ifta.org/>

NTAA website NTAAウェブサイト

<http://www.ntaa.or.jp/>

2012年IFTA（国際テクニカルアナリスト連盟）シンガポール大会スポンサー企業

Sponsors for IFTA 2012 Singapore



エフ・エリオット

〒146-0085 東京都大田区久が原1-32-2

Tel: 03-3755-5506

E-mail: f-elliott@f-elliott.com

Web: <http://www.f-elliott.com/>

F-Elliott

1-32-2, Hisagawara, Ota-ku, Tokyo 146-0085, Japan

Tel: 81 3-3755-5506

E-mail: f-elliott@f-elliott.com

Web: <http://www.f-elliott.com/>

IFTA 2012 Conference website 大会情報

<http://conference.ifta.org/2012/>

IFTA 2012 Conference brochure (English) 大会パンフレット

<http://conference.ifta.org/2012/docs/brochure.pdf>

IFTA 2012 Conference brochure (Japanese) 大会パンフレット(日本語)

<http://www.ntaa.or.jp/wp-content/uploads/2012/07/IFTASingaporeBrochureJapanese.pdf>

IFTA website IFTAウェブサイト

<http://www.ifta.org/>

NTAA website NTAAウェブサイト

<http://www.ntaa.or.jp/>